施工説明書

INAX

化粧ミラーキャビネット

ＦＳシリーズ

MFS-753H，752H，751H，751
602H，601H，601

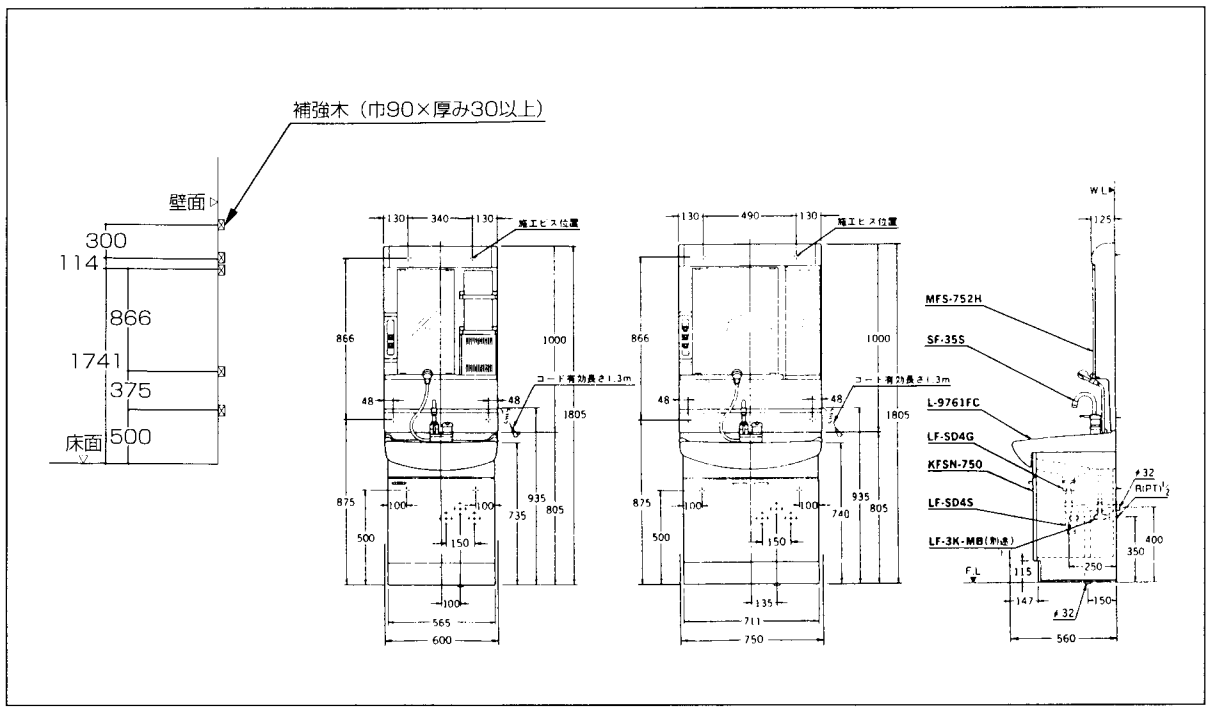
施工される前に

●施工に際しては、必ずこの施工説明書に従い正しく施工してください。
※この施工説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますので十分ご注意ください。
●「保証書（取扱説明書裏表紙）」は貴店名、取付日を忘れずに記入の上、必ずお客様にお渡しください。
●施工段階での欠陥工事は、施工店様に対して賠償責任が問われる場合がありますことを十分にご認識いただき、お客様が安全で快適にご使用できるようにご協力ください。

■付属部品

	MFS-753H MFS-752H	MFS-751H MFS-751	MFS-602H	MFS-601H MFS-601
歯ブラシ立	1個	1個（扉型）	1個	1個（扉型）
照明カバー	1個			
蛍光灯	1本（20W）		1本（15W）	
壁固定用ねじ	4本			
化粧キャップ	2個			
施工説明書・取扱説明書	各1部			

■寸法図



安全のために必ずお守りください

ここでは施工に際して守らないと人身事故や家財の損害に結びつく注意事項を挙げています。
施工前にこの項目をよくお読みいただき正しく施工してください。

用語および記号の説明

警告・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」
注意・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」
⚠・・・「注意しなさい！」（上記の「警告」「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）
⃠・・・「してはいけません！」（一般的な禁止記号です）
・・・「分解してはいけません！」
・・・「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠ 警告

●修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※発火したり、思わぬケガをすることがあります。
●ストーブやヒーターなど熱を発生するものを近くに置いて使わないでください。
※変色や変形、火災をおこす恐れがあります。

⚠ 注意

●浴室内などの高温多湿場所へは、設置しないでください。
※木部が水を含んで腐ったり、漏電や感電の恐れがあります。

⚠ 注意

●直射日光が当たる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。またスポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。
※変色や変形の原因になります。
●電源は必ず専用のコンセントからお取りください。また、コード類を束ねたまま、使用しないでください。
※発熱の恐れがあります。
●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
※感電やショートして発火することがあります。
●この説明書以外の壁仕様（ＡＬＣ壁等）の場合は、キャビネットの取付けをしないでください。
※キャビネットの取付強度が保てず落下する恐れがあります。必ず壁の施工のやり直しを行ってください。

お願い

●不陸が5mm／2mを超える場合は施工しないでください。
※不陸があるまま施工すると鏡がひずんだり、割れたりする恐れがあります。
●・酸性、アルカリ性および塩素系の洗剤類
・ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類
を使用して、化粧ミラーキャビネット本体を拭かないでください。
※変色や変形の恐れがあります。（溶剤がつきますと跡が残ることがあります。）

施工前の確認

1.電源の確認
● 電源コンセントはＡＣ１００Ｖをお使いください。
電源は必ず電気設備規準、内線規定に準じた配線でブレーカー（１００Ｖ、１５Ａ）の設置された１００Ｖ用コンセントからお取りください。
コンセントを新しく設置する場合（配線工事は電気工事店にご依頼ください）、電源コードの長さは１．０ｍですので、電源コードの届く、床面より高くて水のかからない位置に設置してください。

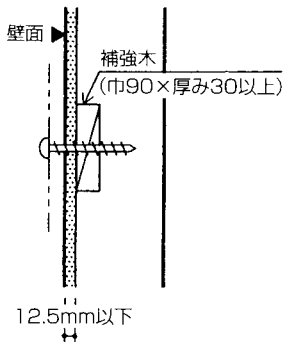
2.壁面工事の確認
〔壁材、下地材の確認〕
● キャビネットの取付可能な壁面は図に示す（1）、（2）の場合のみです。
（1）乾式壁３種
（2）湿式壁２種
以上５種類の壁面
〔補強木、仕上げ材の厚みの確認〕
● キャビネットの取付けには乾式壁の場合、壁面に補強木（幅９０mm x 厚み３０mm以上）が指定の位置（寸法図参照）に必ず必要です。あらかじめ建築施工の際に補強木を設けてください。直接、壁の仕上材にキャビネットの取付けはしないでください。
● 乾式壁の場合、補強木手前の仕上げ材は取付ねじを補強木に届かせるため必ずトータルの厚みで１２．５mm以下のものを用いてください。
● 湿式壁の場合は、ＡＹボルトをコンクリートに届かせるため、モルタル、タイルの仕上げはトータルの厚みで２０mm以下としてください。また、壁本体がコンクリートブロックの場合は、中空部をモルタル詰めしてください。
〔壁の不陸について〕
● キャビネット取付壁面の不陸は5mm／2m以下であることを確認してください。
（キャビネット本体を壁に当て、壁との隙間が5mm以下であることを確認してください。）

株式会社INAX

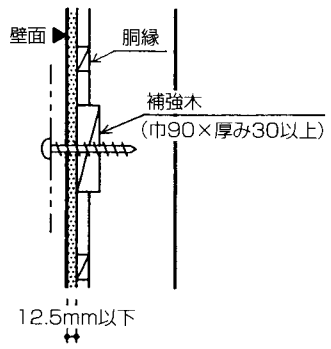
本　　社　☎0569-35-2700
関東支社　☎048-668-1177
関西統括支社　☎ 06-539-3500
北海道支社　☎011-271-1713
甲信支社　☎0263-36-2166
中国支社　☎082-223-1710
東北支社　☎022-301-1701
中部統括支社　☎052-201-1717
四国支社　☎087-821-1701
首都圏統括支社　☎03-5541-7111
北陸支社　☎076-264-1710
九州支社　☎092-282-3154

（1）乾式壁

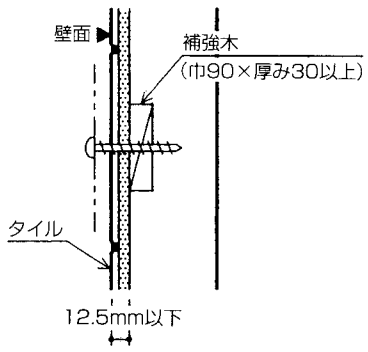
●ボード類直張り



●ボード類胴縁取付け

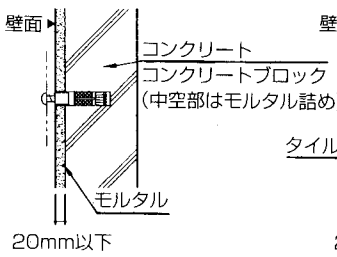


●タイル仕上げ

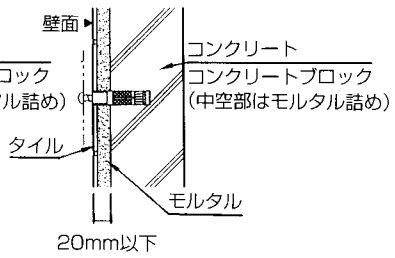


（2）湿式壁

●モルタル仕上げ



●タイル仕上げ



壁本体がコンクリートブロックの場合は、中空部はモルタル詰めしてください。

⚠ 注意

この説明書以外の壁仕様（ＡＬＣ壁等）の場合は、キャビネットの取付けをしないでください。
※キャビネットの取付強度が保てず落下する恐れがあります。必ず壁の施工のやり直しを行ってください。

お願い

不陸が５mm／2mを超える場合は施工しないでください。
※不陸があるまま施工すると鏡がひずんだり、割れたりする恐れがあります。

施工方法

■ 化粧ミラーキャビネットの取付け

● 乾式壁（補強木）へのキャビネット取付けの場合には付属のねじ（φ４.０×６０mm）をご使用ください。

● 湿式壁への取付けの場合は、ＡＹボルト（ＡＹ－３４Ｗ：別途手配）をご使用ください。

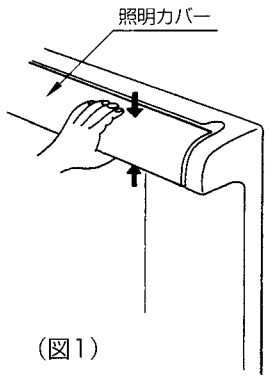
１.コード取出口の開口

コードを取出す側（電源コンセント側）のコード切欠部から取り出してください。

２.照明カバー、蛍光灯の取外し

① 照明カバーの上下を押え、下側から上側に回転させるようにして手前に取りはずします。（図１）

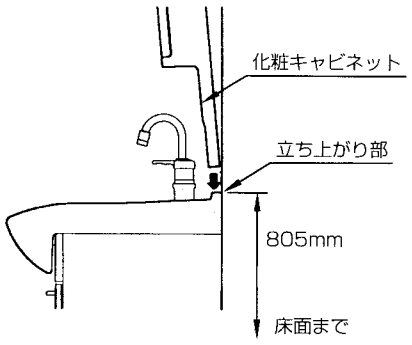
②蛍光灯を取外します。



（図1）

３.位置決め

● 洗面器の立ち上がり部が水平か確認してください。水平がでていない場合は化粧キャビネットも水平に設置できません。（洗面化粧台下端のアジャスターで上下調節を行なってください。）
また、立ち上がり部が床面より８０５mmの高さであるか確認してください。



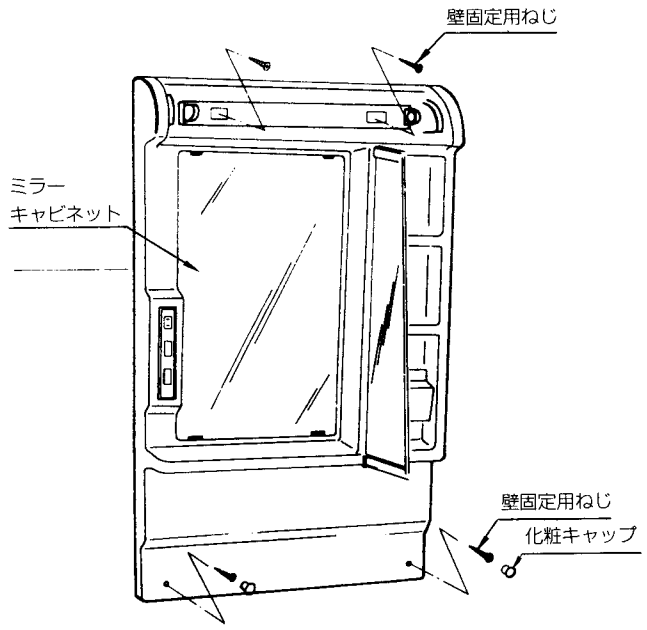
４.壁固定

〔乾式壁への取付け（ねじ固定）〕

下記の手順に従って取り付けてください。

（１）取付ねじ固定部は上下４ヶ所あり、上部２ヶ所は照明部の両端をねじ固定します。下部２ヶ所は両端をねじ固定します。（図２）

（２）下部２ケ所の壁固定用ねじは締付後、化粧キャップを挿入してください。（図２）



（図2）

〔湿式壁への取付け（ＡＹボルト固定、ＡＹ－３４Ｗ：別途手配）〕

（１）ＡＹボルトの位置を確認し位置出しします。（壁面のＡＹボルト位置）

（２）下孔（φ１１．０深さ６０mm）を壁にあけ切粉をよく取り除きます。下孔は電動ドリルを使用し正確に開けてください。

（３）ＡＹボルトを挿入してゴム筒を押さえてボルトを抜き取ります。

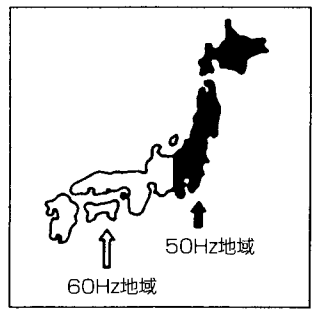
（４）取付固定部は上下４ヶ所あり、上部２ヶ所は照明部の両端をボルト固定します。下部２ヶ所は両端をボルト固定します。

（５）下部２ヶ所のボルト締つけ後、化粧キャップを挿入してください。（図２）

５.照明カバー、蛍光灯の取付け

（１）蛍光灯を取付けます。

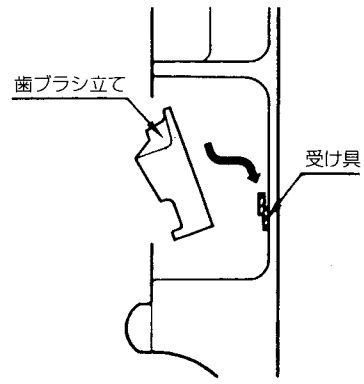
（２）照明器具の周波数は５０Ｈｚにセットされています。６０Ｈｚ地域でのご使用の際にはスイッチを６０Ｈｚに切り替えてください。



（３）取外した時の逆の手順で照明カバーを取付けます（図１）

■ 歯ブラシ立ての取付け（２面鏡、３面鏡タイプ）

歯ブラシ立てを袖ミラーの中の受け具に差し込み取り付けます。



施工後の確認

■キャビネット本体の確認

（１）キャビネットの取付ねじが十分に締まっているか、ゆるみがないか確認してください。

（２）キャビネット自体にガタツキ、壁とキャビネットとの隙間がないか確認してください。

（３）電源プラグをコンセントに差し込み、照明スイッチを操作して点灯することを確認してください。